

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回文化財保護審議会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和5年8月9日（水）午前10時から午前11時30分		
開 催 場 所	第2庁舎 801会議室		
出 席 委 員	二宮会長 孤島委員 椎名委員 伊藤委員 鈴木委員 太田委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	碓井文化財係長 高木主任（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>1 議 題 東京文化財ウィークについて</p> <p>2 報 告 (1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について (2) 埋蔵文化財の試掘・発掘調査について (3) 天神社本殿について</p> <p>3 その他 (1) 公民館主催事業 子ども体験講座「めざせ、縄文博士」について (2) 図書館事業「こがねい電子図書館」との連携</p> <p>4 次回以降の会議日程 第3回 令和5年11月1日（水）午前9時予定</p>		

会 議 結 果

確井文化財係長	<p>皆様、おはようございます。本日はお忙しい中、令和5年度第2回文化財保護審議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。本日、生涯学習課長の三浦につきましては、所用のため欠席させていただいております。ご了承のほどよろしく願いいたします。</p> <p>では、これより先の議事進行につきましては、二宮会長にお願いさせていただきますと思います。よろしく願いいたします。</p>
二 宮 会 長	<p>おはようございます。暑さの厳しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>それでは、次第に従いまして進めてまいります。</p>
二 宮 会 長	<p>1 議題 東京文化財ウィークについて</p> <p>最初に、議題の「東京文化財ウィークについて」につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
高木主任 (学芸員)	<p>例年、10～11月の時期は「東京文化財ウィーク」で広く市民の方を対象とした文化財関連の事業・イベントを多く実施しております。</p> <p>「史跡めぐり」「地域史講座」「企画展示」を企画しているほか、内他部署の事業ではございますが、「文化財の特別公開」を予定しております。</p> <p>「史跡めぐり」は、「縄文遺跡群ウォーク」と銘打ち、近隣市の国分寺市との共催事業としての実施を予定しております。国分寺市・小金井市の野川周辺の縄文遺跡群を、実際に現地を歩きながら、両市の職員がガイド役を務め、それぞれの市の遺跡の特徴についてご説明させていただき、遺跡巡りをしていただく、というイベントとなります。開催時期といたしましては概ね11月中旬を予定しております。</p> <p>「地域史講座」は、「縄文遺跡と土器のみかた（仮題）」と銘打ち、小金井市内においてこれまで最も多くの遺跡が発見されている「縄文時代」についての3回講座を予定しております。</p> <p>「企画展示」は、「小金井の旧地図（仮題）」と銘打ち、市民部資産税課において保管されていた、「公図」を展示させていただくことを予定しております。資産税課において保管している明治時代の公図は非常に状態がよく、当時の土地の状況・地番・地形等の情報を得やすいので、生涯学習課文化財係において保管している絵図と比較することで、非常に情報がクリアになってくる、ということで、今後、現在資産税課において保管されていた古い公図2箱を借用し、企画展示に向けての準備を進めていきます。</p> <p>公図は、資産税課においては歴史資料の観点で調査は及んでいなかった部分であったことから、今後、生涯学習課文化財係において、その内容について学術的観点に立った調査・精査を行います。</p> <p>「文化財の特別公開」事業は、はげの森美術館の管理運営を所管する「市民部コミュニティ文化課」の主催事業です。通常時、国登録有形文</p>

	<p>化財「旧中村研一邸」の茶室「花侵庵」は、建物内部は締め切られており、外観のみご覧いただける状態となっています。この度、令和5年10月28日(土)～令和5年11月5日(日)の期間に限り内部公開します。現時点においては、建物外より内部をご覧いただく形を想定しております。</p> <p>また、「旧中村研一邸」の主屋、施設名称は「はけの森美術館附属喫茶棟」となっている建物ですが、既に喫茶店舗は撤退しており、現在、そのこともあり、「建物管理が困難」ということで、「非公開・見学不可」となっている、とのことです。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございます。ただいまご説明いただいた件につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
太田委員	<p>「文化財センター 秋の企画展示」の「旧地図」の公図については、年代はわかっているのでしょうか？明治7年か、或いはもう一回更新した明治10年代あたりの時期のものと考えられます。かなり大きいものではないですか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>概ね太田委員のご指摘通りと考えています。ただし、詳細は公図を広げた上での、年代含めた調査が必要と考えております。大きいものもあります。</p>
二宮会長	<p>他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
伊藤委員	<p>「旧中村研一邸」茶室「花侵庵」の公開につきまして、令和4年度においては、展覧会とタイアップし、アートイベントを開催しましたが、令和5年度の特別公開事業については、ただ建物内部をご覧いただく、ということのみなののでしょうか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>令和5年度は、シンプルに建物内部の期間限定公開事業、という形とする予定です。ただし、事業主管部署のコミュニティ文化課としても何かできないか現在検討中である、とのことです。</p>
二宮会長	<p>他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>例年、「東京文化財ウィーク」の際には、各自治体の事業の周知の目的で、ガイド冊子が作成されていたと思いますが。</p> <p>主催者の東京都の考え方は、これからはインターネットを活用し、情報をご自身で検索していただきたい、という方針です。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化を受けて、紙媒体の発行は取り止めとなりました。</p> <p>小金井市でも、東京都の広報力、紙媒体の広報力は頼りにしていた部分は正直大きかったので、少なからず影響は受けております。市では他市イベントも含めた一覧表を1部ご用意し、冊子にしたものを「閲覧用」という形で生涯学習課窓口に備付しています。</p>
二宮会長	<p>他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
委員全員	<p>(特になし)</p>
二宮会長	<p>それでは、「東京文化財ウィーク」につきまして、小金井市としましては、ただいまご説明いただきました形で事業を進めていく、ということでご承認いただけますでしょうか？</p>

委員全員	(異議なし)
二宮会長	2 報告
高木主任(学芸員)	(1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について それでは、続きまして「報告事項(1) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について」につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。 本日は3つの項目「令和5年度の補植計画について」「東京都立農業高校との連携について」「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業について」をご報告させていただきます。 1点目、「令和5年度の補植計画について」、名勝の景観維持の観点から、既に一定整備が完了している「小金井橋～梶野橋」間のエリアにおいても、今後も継続的に補植を行う必要があります。そのため、令和5年度においても、既整備区間において、ヤマザクラ苗木10本程度の補植を予定しています。 そして、補植作業に関しましては、過日、令和5年7月13日に、東京都水道局の主催で、近隣にお住まいの方々を対象とした、作業説明会が開催されました。説明会では、玉川上水の管理者である東京都水道局より今後の整備計画について、小金井市からは「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」についてご説明させていただきました。 2点目、「東京都立農業高校との連携について」、令和5年2月1日に連携協定を締結いたしました東京都立農業高校において、過日、令和5年7月19日に、生涯学習課職員が出向き、ヤマザクラ苗木の育成等を行ってくださっている緑地計画科の3年生に向けて、出張授業という形で、小金井桜の歴史や整備事業の重要性について説明させていただきました。生徒の皆さんには非常に熱心に説明を聴いていらっしゃいました。 3点目、「名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念事業について」、2024(令和6)年12月9日に、名勝小金井(サクラ)は国の名勝指定を受けてから100周年を迎えます。そしてこの間、100周年事業実行委員会における議論も進み、周年直前となる令和5年においても、市民の方へのPR効果の大きい事業を中心に、先行して始めていく、という方向性で話を進めさせていただいているところです。早速その第1弾といたしまして、令和5年10月14日(土)・15日(日)の2日間、都立小金井公園において開催される「第51回小金井市民まつり」においてPRを開始させていただく予定です。
二宮会長	ありがとうございました。ただいまご説明いただいた件につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか？
鈴木委員	東京都水道局主催の作業説明会は、何名程度の方が参加されたのでしょうか？
高木主任(学芸員)	市民の方、市外在住の方合わせて20名程度の方が参加されました。
椎名委員	欠損木に関する調査につきまして、調査の段取り等の情報は何らか入手されていますか？令和5年の夏はかなり厳しい暑さとなっている

<p>高木主任 (学芸員)</p>	<p>ため、枯れてしまうものが一定あるのではないかと見込まれている、というのが1点。東京都教育庁調査ではナラタケモドキ病の疑いがあった桜があったようです。</p> <p>ナラタケモドキ病については、新しく植樹した苗木も当然に影響を受けてしまいますが、古木が多く枯れてしまう恐れがあり、その場合、枯れた古木の間に、新たな苗木の補植を行うこととなりますが、ナラタケ病・ナラタケモドキ病への対策についてはきちんと確認すべきと考えます。</p> <p>ここ数年、「名勝小金井（サクラ）」の名勝区間におけるヤマザクラ並木の中で、特定のエリアで桜が複数本、枯死が疑われる現象がある、との指摘を受け、「名勝小金井（サクラ）」の管理者である東京都教育庁において、特定の範囲で樹木医による緊急調査を実施いたしました。その結果、「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」の可能性が高い、という診断でした。</p> <p>小金井市においては、現在、「玉川上水・小金井桜整備活用事業」として、ヤマザクラ苗木の補植を計画的に進めていますが、病気で枯死した木の場所又は至近における補植は避けることとしています。東京都教育庁に土壌改良を依頼し、数年経過を見た上で、当該地の補植の検討をいたします。</p> <p>今後の補植事業の考え方は、現状は、古木の位置がフェンス外側の道路に近い部分に所在し、道路を走行する車と桜の木が接触してしまい、車・文化財双方がダメージを受けてしまうケースも少なからず発生しています。これらのことから、安全性・文化財の適正管理の観点からも、道路からも離れており、かつ、立ち入りが制限されているフェンス内側で、自由に枝葉を伸ばし、伸び伸びと育ってくれれば、と考えています。</p>
<p>権名委員</p>	<p>「名勝小金井（サクラ）」のことだけを考えれば、「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」が発生したエリアにおける土壌改良は当然に必須ですが、土壌改良に際しては、一定程度の面積・深さの土の入替が必要となるため、「史跡玉川上水」、特に素掘りの部分への影響についてどのように考えるか、という点が問題となります。病気の影響を調査・解明し、事の重大性を正確に把握することが求められます。「史跡玉川上水」保存に影響のない範囲で、土壌改良及びその後の補植を進めていく、という手法が、「文化財保護」の観点では最も適切であると考えます。</p> <p>土壌改良以外の対処法として、大規模な盛り土を行った上で新たな苗木を植える方策もありますが、史跡本来の姿を変えることになり「名勝小金井（サクラ）復活事業」と言って良いのか、という問題が出てきます。</p> <p>「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」の原因となる菌を死滅させる効果のある農薬類もありますが、現在日本国内においては使用が認められておりません。一方で、極稀な事例ではありますが、「ナラタ</p>

二宮会長 委員全員	<p>ケ病」または「ナラタケモドキ病」に侵されながらも枯死しない木もあります。</p> <p>それらの事実を総合的に勘案すると、現実的には「ナラタケ病」または「ナラタケモドキ病」によって枯死した木又は周囲は10年間程度の間補植を行わず、その原因となる菌が自然消滅するのを待つ、という対処法になるかと考えます。</p> <p>他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？ (特になし)</p>
二宮会長 高木主任(学芸員)	<p>(2) 埋蔵文化財の試掘・発掘調査について</p> <p>それでは、引き続きまして「報告事項(2) 埋蔵文化財の試掘・発掘調査について」につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>平代坂遺跡の発掘調査は、令和4年2～7月の期間で現地調査を行い、約1年間の整理調査を経て、この度、発掘調査報告書を作成しました。小金井市域においてはこれまで発見されてこなかったものも非常に多く発見されましたので、かなり中身の濃い報告書となっております。調査報告書は、市立図書館に配架し、市民の皆様に公開することを予定しています。</p> <p>No.22遺跡については、小金井市域では、仙川流域において初めて発掘調査を実施した場所です。発掘調査は令和4年11月に現地調査を終了しており、現在は調査者の東京都埋蔵文化財センターで、調査報告書の作成を鋭意進めているところです。調査報告書の完成時期につきまして令和5年度内の完成を目指している、とのことでした。</p> <p>貫井遺跡では、公園整備事業に際して、小金井市教育委員会が調査者として発掘調査を実施しました。発掘調査は令和5年3月に既に終了しており、現在は整理作業を進めています。調査報告書の完成時期は、令和5年度内の完成を目指しています。</p> <p>引き続き、令和5年度において、小金井市域において実施する発掘調査についてご説明させていただきます。</p> <p>七軒家遺跡では、宅地造成等に伴い、事前に遺構の有無を確認するための試掘調査を実施いたしましたが、調査結果、遺構の広がりには発見されず、試掘調査の完了を以て調査終了としています。</p> <p>引き続きまして、今後の調査予定につきましてご説明させていただきます。現時点において、令和5年度において発掘調査の実施が決まっている場所は2件です。</p> <p>1件目は、荒牧遺跡における発掘調査です。宅地造成に伴う調査です。新たな道路の設置に伴い、令和5年8月30日～9月1日の期間に、遺構の有無を確認する目的で試掘調査を実施いたします。</p> <p>2件目は、平代坂遺跡における発掘調査です。令和4年に発掘調査を実施したエリアとは異なる場所となります。市道39号の「平代坂」の一部において道路拡幅工事が実施されていることに伴い、発掘調査を実施するものです。本調査については、市長部局が事業者で、小金井市教</p>

<p>二宮会長 委員全員</p>	<p>育委員会が調査者となります。発掘調査は、令和5年10月頃の実施を予定しています。</p> <p>ありがとうございました。ただいまご説明いただいた件につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか？ (特になし)</p>
<p>二宮会長 高木主任(学芸員)</p>	<p>(3) 天神社本殿について それでは、引き続きまして「報告事項(3) 天神社本殿について」につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p> <p>この度「天神社」の管理者よりご連絡をいただきました。「神社本殿の中に古い木造建築がある。」という内容でした。</p>
<p>二宮会長 伊藤委員</p>	<p>「天神社」の概要については資料4の通りです。祭神は菅原道真公を祀り、享保7年の建立、本殿部分は間口3尺、奥行が9尺という規模となります。建築物の由来として、宝暦年間に、小金井神社の本殿の建替えが行われた際に、元々の本殿を天神社に移築した、との記述・伝承が残されています。</p> <p>令和5年6月7日に、伊藤委員にご同行いただき、文化財センター学芸員とともに現地確認をさせていただきました。建築物の文献資料が極めて少ないことから、まずは下見という形で状況確認を進めることといたしました。現地を拝見したところ、対象の建築物は、本殿内部に確かに存在していました。</p> <p>現時点においてはこれまでの経過、そして現地調査の結果をご報告させていただき、併せて、今後の方向性についてご意見をいただければ、と考えております。</p> <p>ありがとうございました。それでは、ただいまご説明いただいた件につきまして、伊藤委員よりコメントをお願いいたします。</p> <p>鞘堂の中に入った本殿は、一間社の「流造」という形式のオーソドックスな本殿でしたが、さらにその中に御神体を収納する厨子、宮殿と呼ぶものですが、もう一つ流造が収められていました。本殿の法量につきましては、正確に計測することはできませんでしたが、間口3尺はなかったと思います。</p> <p>拝見した印象として、外側の一間社流造の本殿の軸部、屋根以外の部分はかなり古いものではないか、と感じました。17世紀中期以前のものと考えられ、小金井神社の本殿を移築したという伝承の裏付けと考えることができるのでは、という印象を抱いています。細部の絵様、木鼻の絵様の彫り等が浅く、非常に単純なものであり、おそらく17世紀まで遡るものと考えられます。</p> <p>天神社本殿の建立は享保7年とされており、新田集落が開発された時期に当たりますが、それよりも古くに建てられたものであることは間違いのないと思います。</p> <p>同時に、当時、新田集落で新たな神社を建立する際の勧進において、古い社殿を譲り受けた上で建造する、ということが一般的に行われて</p>

	<p>きた、ということを示す歴史資料である、という考え方もできるので、という印象を受けました。</p> <p>ただ、屋根は取替されており、完全な形で本殿が残っている、とは言えないのですが、軸部だけにフォーカスすれば、おそらく小金井市域内において最も古い建築物である可能性もあるのではないかと、という印象を持ちました。</p> <p>そして、内部の宮殿、内陣の小さなほこらのようなものですが、正確には、美術史の専門家による分析を経なければわかりませんが、外見上はかなり古いものではないかと、という印象を受けた反面、中には後から後世に描き加えた、と思われる梅の木の絵もあり、これは是非美術史の専門家の方にご覧いただき、分析をお願いすべきかと思えます。</p> <p>ただ、厨子につきましても、入口のサイズよりずっと大きく、本殿建造後に内部に収めることは物理的に不可能であることから、屋根の取替を行った際に、内部の入替も同時に行った、ということも考えられると思えます。</p> <p>今回の調査結果のみを以て断定はできませんが、新田集落開発期の享保7年以前の建築物であることはおそらく間違いないと考えます。そして、おそらく別の場所から移築されてきたものだと思われることと、建物全体が別の建造物の内部に収められており、老朽化が著しく、早急な調査や修繕が必要、という状況ではないことから、慎重に調査を行った上で、その必要性があれば「市指定文化財」としての指定を視野に入れる、ということでは、という印象を持っています。</p> <p>私からは以上です。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございます。ただいま事務局及び伊藤委員よりご説明いただいた件につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
孤島委員	<p>昭和前期の時代には、天神社は「関野天満宮」という呼称でしたが、現在の関野町南側エリアの新田の守り社となっており、寺社は現在の関野町全体の中で真蔵院のみでしたが、現在の関野町北側エリアには「関野八幡宮」が、関野町南側エリアには「関野天満宮」があり、それらの神社の間に交流等はなく、それぞれの地域に根差した神社として、その歴史を重ねてきた、という印象を持っています。昭和26年に、真蔵院の檀家の方々の中で、関野町南側エリアに住んでいた方々が独立して太陽寺という寺社を建立し、それと同時に、「関野天満宮」と真蔵院との関係性もなくなりました。</p> <p>特定の地域に住んでいる人々による地域独自の文化の一端として、「関野天満宮」については真蔵院が所有している神社、という認識を持たれることもありますが、実情としては、「関野天満宮」は、現在の関野町南側エリアの地域に根差した神社であり、真蔵院とは特別の関係性はなかった、と聞いています。</p>
二宮会長	<p>ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>

委員 全員 二宮 会長	<p>(特になし)</p> <p>非常に貴重な文化財資料であり、じっくり調査を継続して進めていく必要がある、という印象を受けました。引き続きよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、報告事項3件について事務局よりご説明をいただきましたが、3件すべてにつきましてご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p>
二宮 会長 委員 全員 二宮 会長	<p>他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？</p> <p>(特になし)</p> <p>ありがとうございます。非常に複雑な問題で、市の立場も難しいことと推察しますが、椎名委員をはじめとした専門家の方々のご意見・ご助言を賜りながら、今後も事業を進めていただければ、と思います。</p> <p>本審議会としても協力してまいりたい、と考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。</p>
二宮 会長 高木主任 (学芸員)	<p>3 その他</p> <p>(1) 公民館主催事業 子ども体験講座「めざせ、縄文博士」について</p> <p>それでは、「3 その他」の「(1) 公民館主催事業 子ども体験講座「めざせ、縄文博士」について」につきまして、事務局よりご説明をお願ひいたします。</p> <p>文化財事業の「普及・啓発」の一環として、生涯学習部内の公民館と連携し、公民館主催事業として「子ども体験講座」を実施いたしました。抽選で選ばせていただいた20組、22名の小学生に参加していただきました。小学校の夏休み当初、という時期も相まって、応募倍率は非常に高くなりました。</p> <p>「子ども体験講座」において、勾玉作りを体験できる講座を開催するに当たり、同時に「小金井の縄文遺跡」について知ってもらえる内容で実施し、生涯学習課文化財係職員が講師を務めさせていただきました。</p> <p>「勾玉作り」は、専用キットを活用し、約1時間半の間、「削っては磨く」という作業を粘り強く繰り返し、参加者全員が無事に完成することができました。また、講座の冒頭では、生涯学習部の図書館職員による「読み聴かせ」を実施し、その点では生涯学習部の全部署（公民館・図書館・生涯学習課）による連携事業、と言うこともでき、結果的に参加された児童の皆様はもちろん、保護者の方々からも大変ご好評をいただくことができました。「今後もこのような取組を継続して欲しい。」「また参加したい。」という声もいただくことができましたので、担当といたしましても、今後繋がるような企画について検討すると同時に、公民館事業との連携につきましても、今後も継続してまいりたいと考えています。</p>
二宮 会長	<p>(2) 図書館事業「こがねい電子図書館」との連携</p> <p>それでは、「3 その他」の「(2) 図書館事業『こがねい電子図書館』</p>

高木主任 (学芸員)	との連携」につきまして、引き続き事務局よりご説明をお願いいたします。
	<p>『こがねい電子図書館』は、図書館事業において、恒常的な電子書籍の貸出サービス事業です。図書館との協議において、「生涯学習課文化財係で保有・刊行している貴重な資料や冊子を取り上げたい。」という話をいただきました。「錦絵」「古地図」等の資料紹介や、「小金井市誌Ⅱ 歴史編」、「小金井市の歴史散歩」等の、既に絶版で販売を行っていない刊行物のうち、需要があると思われるものについて、全ページを電子化し、コンテンツとして公開する、という取組を行っております。現状それらの地域資料については、「こがねい電子図書館」内において、誰でも予約不要で閲覧可能となっています。</p> <p>生涯学習課といたしましても、課として独立したアーカイブがない現状においては、「普及・啓発」や、「資料の活用」という観点で非常に有難い話であり、「コンテンツの絶対数を増やしたい。」という意向を持つ図書館とは、お互い「win-win」の関係を構築できていることから、今後も協力し合いながらより良い形を目指してまいりたいと考えております。</p> <p>現在、「こがねい電子図書館」内の「地域資料」のコーナーにおいては、「文化財センター通信」の公開も開始するなど、徐々にコンテンツを増やしております。</p> <p>なお、現在販売中の刊行物は、ご購入をいただくことで市の歳入増に繋げていきたい、という考えから「こがねい電子図書館」内での公開は考えておりません。</p> <p>「文化財ブックレット」については、この度シリーズ第2弾として、「小金井市文化財ブックレット2 発掘された小金井」を刊行させていただきましたことをご報告させていただきます。200円の価格で販売も開始しており、おかげさまで非常に多くの方にご購入いただいております。今後は講座のテキストとしての活用含め、検討してまいりたいと考えております。</p>
二宮会長	ありがとうございます。ただいまご説明いただいた件につきまして、何かご意見、ご質問等ございますでしょうか？
伊藤委員	「小金井市文化財ブックレット1 小金井の石造物」は既に完売ですか？
高木主任 (学芸員)	まだ在庫があり、「発掘された小金井」と合わせてご購入くださる方も多くいらっしゃいます。
二宮会長	「文化財ブックレット」は何冊刷っているのですか？
高木主任 (学芸員)	2,000部刷っており、現状の売れ行きを考えますと、いずれは完売すると思われれます。その際には状況によっては増刷も視野に入れるかもしれませんが、まずは多くの方に手に取っていただければ、と考えております。
伊藤委員	どこで販売しているのですか？
高木主任 (学芸員)	「生涯学習課窓口」「文化財センター」のほか、市内の書籍店の「大

	<p>洋堂書店」、及び「江戸東京たてももの園ミュージアムショップ」の4か所で販売しております。</p> <p>「文化財ブックレット」シリーズの刊行に当たっては、これまで開催してきた市民向け講座等を通じて、どのような刊行物が求められているのか、ということを考えてきた中で、全編オールカラー、わかりやすさやビジュアル面を重視した、コンパクトなものとしています。旧石器時代から昭和時代まで、様々な時代の遺構を、写真やイラストを織り交ぜ、多くの方に興味を持っていただけるような構成を意識して編集いたしました。また、ここ数年で発掘調査を行った遺構の情報も入れ、速報的な要素も包含しています。本書の全てのイラストは文化財センターの職員が作成したオリジナルのものです。</p>
椎名委員	<p>「小金井市文化財ブックレット2 発掘された小金井」の53ページに掲載されている地図上に、東海道と思われる道が掲載されていますが、一部点線の部分は、まだはっきりと確定していない部分、という理解でよろしいでしょうか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>点線の部分は、未だ確定していない部分となります。</p>
椎名委員	<p>相模国府に行く道については、現状何かわかっていますか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>相模国府に向かう道についても、分かっていることは少ないです。</p>
椎名委員	<p>東海道については、明らかに神田川と善福寺川を避けていることが見て取れます。</p>
二宮会長	<p>大変素晴らしい写真が多く掲載されており、思わず見入ってしまいます。</p>
高木主任(学芸員)	<p>編集作業を通じて改めて「小金井は、これだけ多くの情報量があるまちである。」という事実に気づかされた部分もありますので、今後も資料として大いに活用してまいりたい、と考えております。</p>
二宮会長	<p>「小金井市文化財ブックレット2 発掘された小金井」の66ページに掲載されている、「学校教育との連携」について、具体例はありますか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>具体的には、「小金井第一小学校」「小金井第三小学校」「小金井第四小学校」と連携させていただいており、学校に出向いて「出張授業」を実施させていただくこともありますし、「文化財センター」にお越しいただき、実物の資料を用いて授業を行うこともあります。</p>
二宮会長	<p>「出張博物館」とセットで実施している事業、という理解でよいのでしょうか？</p>
高木主任(学芸員)	<p>セットで実施する場合もございます。「小金井第四小学校」では、学校の土地が「貫井遺跡」内に含まれているため、その立地を生かした事業としました。その実績もあり、他校においても、その事業形態が少しずつ広がってきています。今後も、学校側から、指導要領に沿った形での授業の実施について、ご相談をいただける機会があれば、その都度学校側と調整してまいりたいと考えております。事業の性質上、毎年度必ず実施する、という計画性を伴うものではありませんが、掲載することで学校側に選択肢を示す、という意味合いも含んでおります。</p>

椎名委員	子どもたちに、自分の地元「遺跡」が存在している、という事実が伝われば、興味が湧く非常に良いきっかけになると思いますし、非常に良い取組であると考えます。
鈴木委員	「文化財ブックレット」については、今後も刊行を企画しているテーマはありますか？
高木主任(学芸員)	考えているテーマは多くあります。遺跡についても「時代別」等のカテゴリー化を行った上でシリーズ化していく計画をもっています。「文化財ブックレット」のコンセプトとして、市史編さん事業において多くの調査結果や成果を生かしていきたい、という考えがあります。他ジャンル、「建造物」「樹木」「文化人や著名人」等、テーマになり得るものは多くあると考えております。
二宮会長	他にご意見、ご質問等ございますでしょうか？
委員全員	(特になし)
二宮会長	ありがとうございます。
	4 次回以降の会議日程
二宮会長	それでは、「4 回目の会議日程」につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。
碓井文化財係長	次回の令和5年度 第3回文化財保護審議会につきましては、令和5年11月1日(水)午前9時より小金井市文化財センターにて開催させていただきます。皆様、ご都合いかがでしょうか？
委員全員	(異議なし)
碓井文化財係長	ありがとうございます。詳細につきましては、後日文書にてご連絡させていただきますのでよろしくをお願いいたします。
二宮会長	それでは、以上で本日の会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。